

8月7日（木） 総務文教常任委員会

調査件名

- 広野駅周辺開発について
- 給食センターの改築について

総務文教

広野駅周辺開発

● 駅東側産業団地
二光製作所の進出については、年内に社屋が完成し令和8年2月の操業開始を目的に計画通り工事が進んでいるとの説明を受けました。

同じく駅東側産業団地へ進出を検討していた歯科医院については、下北迫字新町地内へのドラッグストアの出店計画に参画することに伴い、産業団地への進

出は取りやめたとの説明を受けました。

● 駅東ニュータウン
区画の販売状況については、47区画中2区画が売却済み、1区画が成約済み、1区画が商談中であるとの説明を受けました。

● 新広野駅舎
令和7年度末に交流施設改修工事が完了し、令和7年度から8年度

までロータリー整備工事基本設計・実施設計業務を行い、令和10年度から11年度にロータリー整備工事を行う予定であるとの説明を受けました。



広野駅交流施設の内部イメージ

総務文教

給食センターの建設

● 建設工事
給食センターの改築については、工事進捗率は93・5％であり、予定通り進んでおり、新給食センターでの給食提供開始は令和7年度3学期中を予定して

いるとの説明を受けました。
令和8年3月16日以降には、新給食センター見学及び給食試食会を予定しているとの説明を受けました。



新給食センター（令和7年7月22日時点）

報告

を報告します

委員会

各常任委員会の活動状況

産業厚生

消防団分団屯所

施設概要

全7分団に対し、屯所7箇所、ポンプ置場のポンプ置場を除く13箇所、消防ポンプ自動車5台、小型動力ポンプ付積載車8台を配車してあり、全分団のホース総数は175本、総延長は3・5kmとのことでした。

屯所は毎月のポンプ点検や警戒配備の際に使用されており、令和6年度は災害等による団員の出勤はありませんでした。点検等37回の出勤があったとのことでした。

消防団員数

消防団員数は令和7年8月現在で、本団を含めた消防団員が定数160名に対し89名、

新を予定している第4分団の消防ポンプ自動車1台（配備から34年）については、交付金6年間分を活用して購入するよう状況とのことでした。

機能別消防団員が定数100名に対し73名となっており、団員のなり手が少なく、最近加入する団員は役場職員がほとんどの状況とのこと、消防団が上手く活動できるよう、分団の統合や女性消防団員の採用といった検討も進めていかなければならないと考えているとのことでした。

8月8日（金） 産業厚生常任委員会

調査件名

- 所管施設の調査について
・ 消防団分団屯所
- 林業専用道整備事業（狼山叶沢線）について

消防車両の更新

消防車両は石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用して更新していますが、広野町立地分の交付がなく、いわき市隣接分のみ交付となったことから交付額が大幅に減少しており、令和8年度に更



現地調査の様子（第1分団屯所）

消防ホースや防火服のほか、水防活動時にも使用できる雨具やライフジャケットなど、活動器具及び装備品の整備状況も確認しました。

産業厚生

林 専道狼山叶沢線

整備状況

5工区は岩盤の出現や湧水の発生により工期を令和7年9月末まで延長しており、7月末時点の進捗率は90％で、工事の現場作業は8月末で終わる予定とのことでした。

6工区は岩盤の出現や湧水の発生により工期を令和7年12月末まで延長しており、7月末時点の進捗率は40％で、岩盤が出現したエリアは抜けた状況のため、工事の現場作業は

11月末で終わる予定で、更なる工期の延長はない見込みとのことでした。

6工区の進捗の遅れにより、終点側8工区の令和7年度施行が困難な状況のため、7、10工区の4区画を7、9工区の3区画にするよう区割りを変更し、令和7年度は起点側の7工区のみ施行し、令和8年度に8、9工区を施行する予定とのことでした。

特別 議会 会政治倫理条例

動画研修

厚生労働省ハラスメント対策総合情報サイトから、ハラスメント対策に関する研修動画を委員全員で視聴しました。

次の調査に向け委員に配布している他町村の倫理条例等の資料を熟読し、政治倫理条例の枠組みと必要項目の整備に着手することに決定しました。